

計画の進捗状況等のご説明

平成28年3月17日(木) 19:00～ 於:座光寺公民館
平成28年3月18日(金) 19:00～ 於:中河原集会所



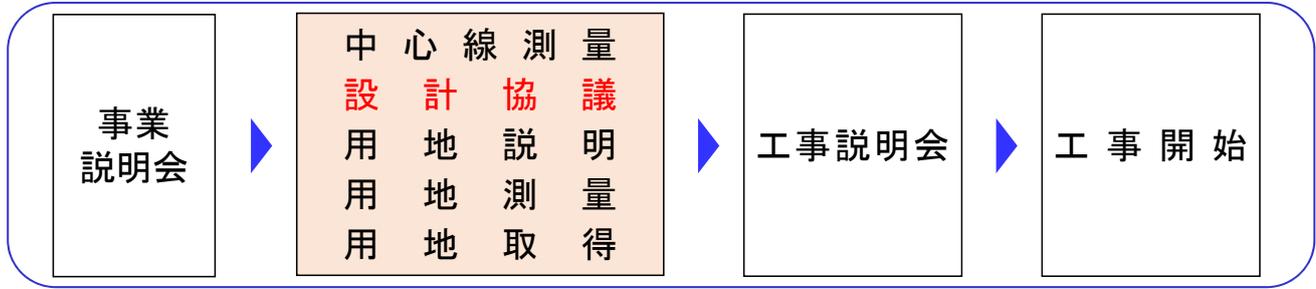
東海旅客鉄道株式会社

2016/3/17, 3/18
説明資料

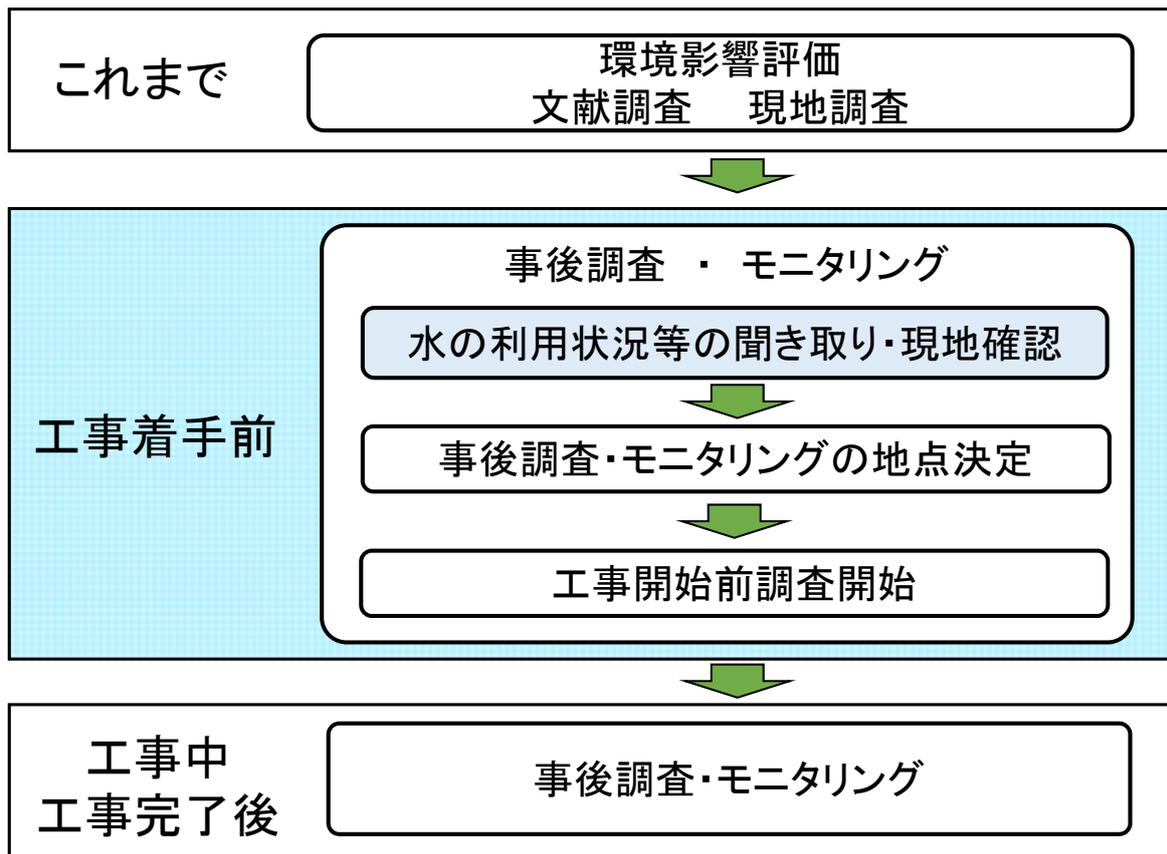
本日のご説明内容

配布資料2

- ①これまでの経緯
- ②水資源調査の進捗状況
- ③防音防災フードに関する検討状況
- ④保守基地線に係る検討状況
- ⑤合併浄化槽について
- ⑥道水路付替え協議の進捗状況
- ⑦駅西側トンネルの施工法検討について
- ⑧今後の予定



- 事業説明会
H26年11月26日～H27年1月29日に計4回実施
- 測量状況等のご報告
H27年8月27日
- 計画の進捗状況等のご報告
本日 (H28年3月17日、18日)



調査票結果を基に聞き取り・現地確認を実施

座光寺地区内

調査項目	調査箇所数	実施時期
表流水 (河川・沢水)	全37地点 完了	H27. 6月～H28. 2月
井戸水	全95箇所 完了	H27. 6月～H28. 2月

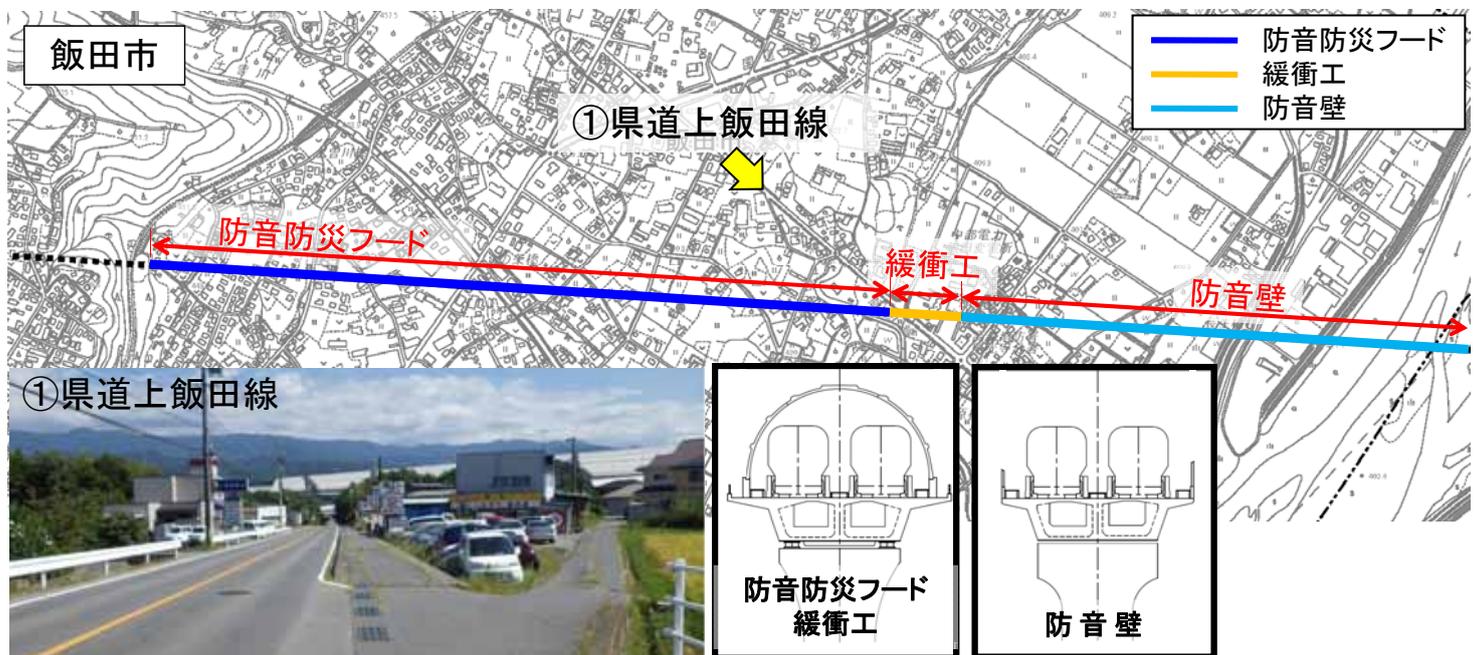
事後調査・モニタリングの地点の選定

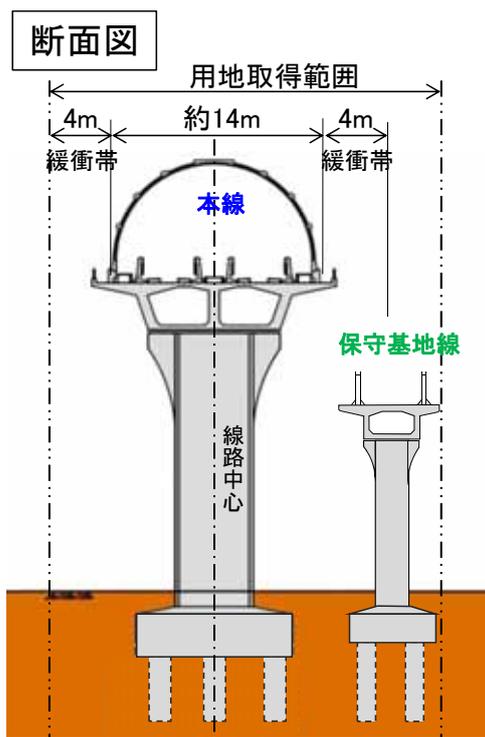
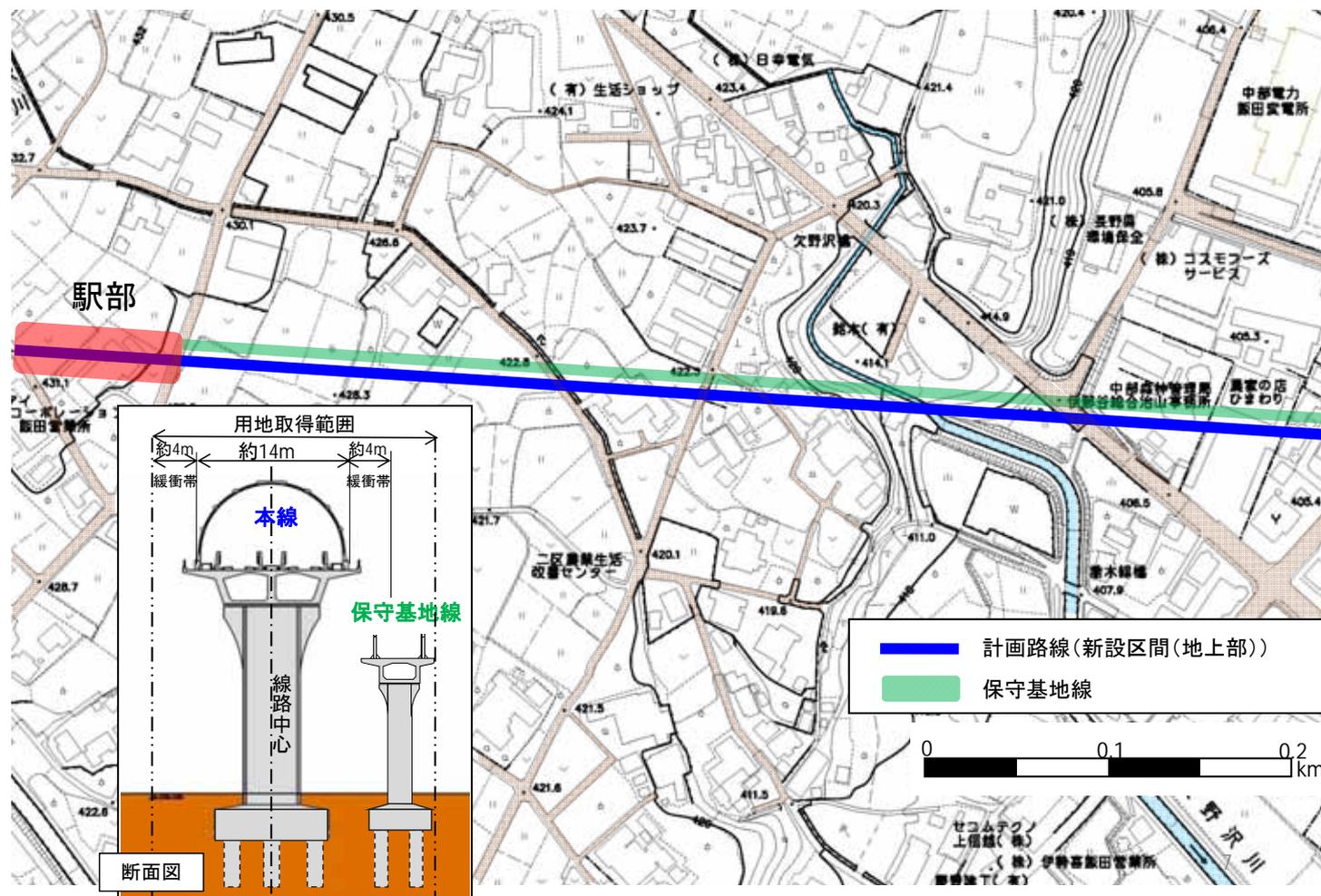
工事開始前調査開始

- ・代表的な地点において、月1回調査を実施します。
- ・代表的な調査箇所で変化がみられた場合には、他の箇所でも調査を実施してまいります。

環境対策工(座光寺地区)

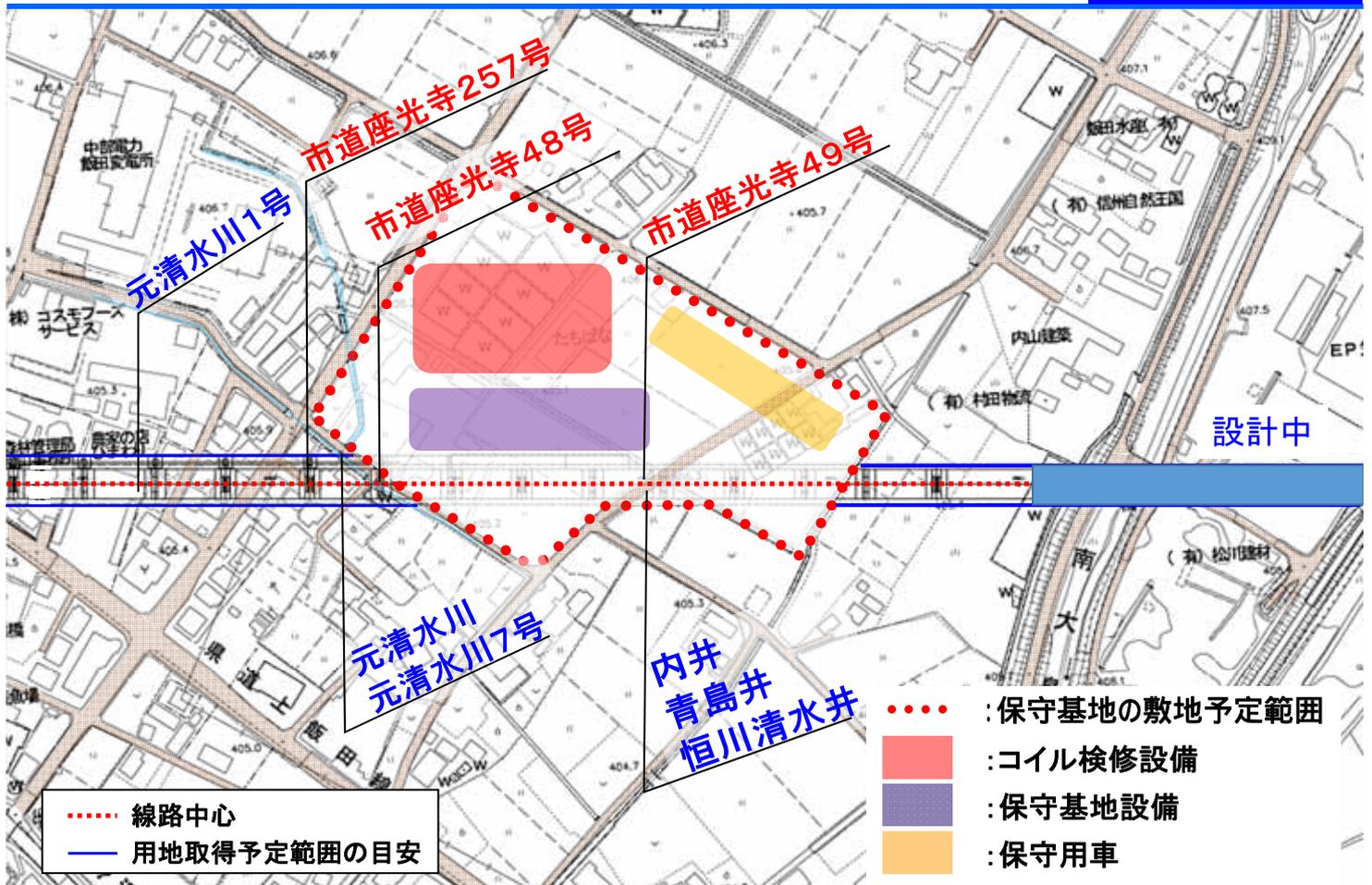
- 今後、県や沿線市町村による土地利用対策の考え方も勘案し、現状の住居等の分布状況や土地利用の状況に基づいて、県および沿線市町村と協議のうえ、最終的に決定していきます。



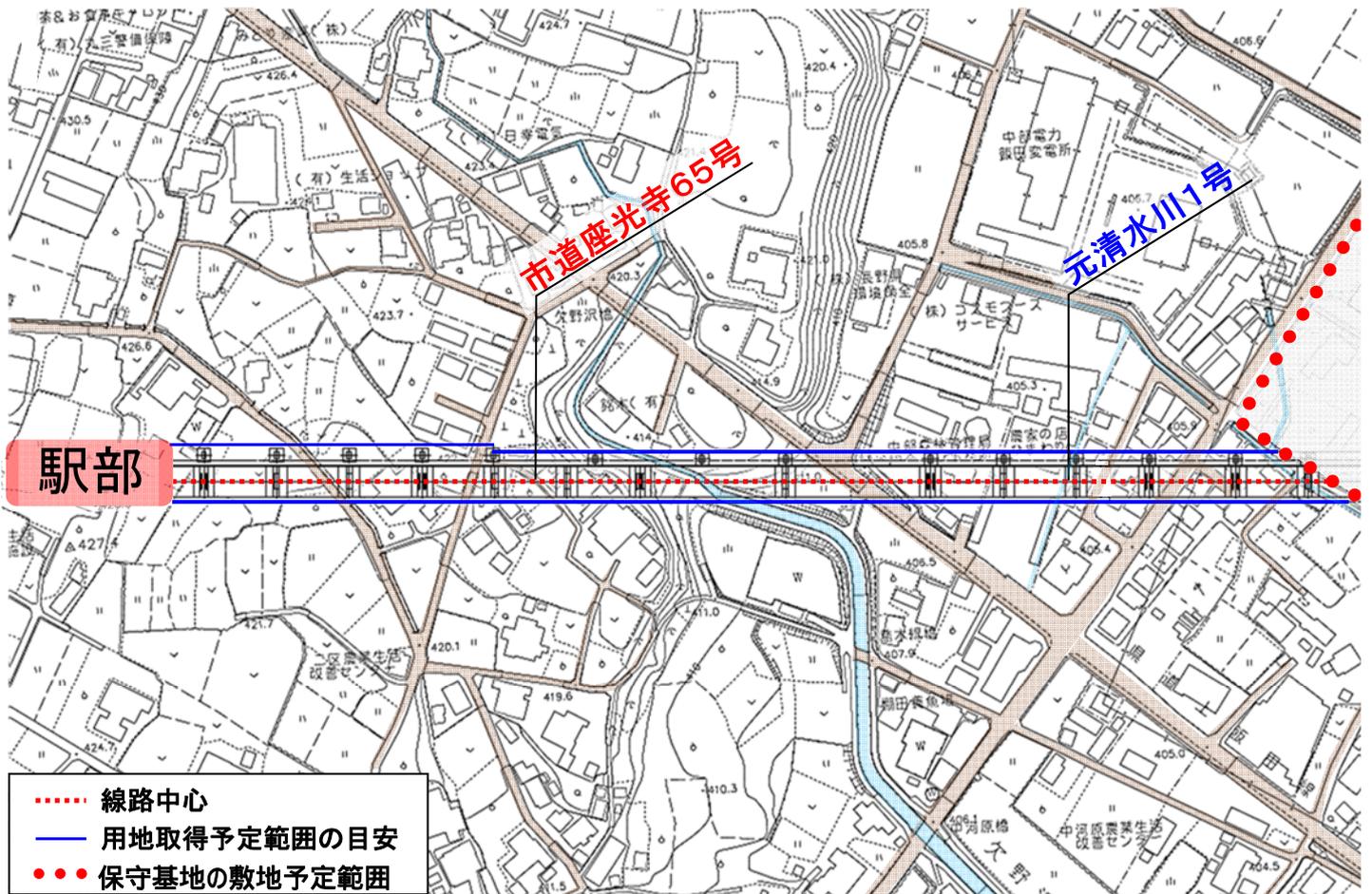
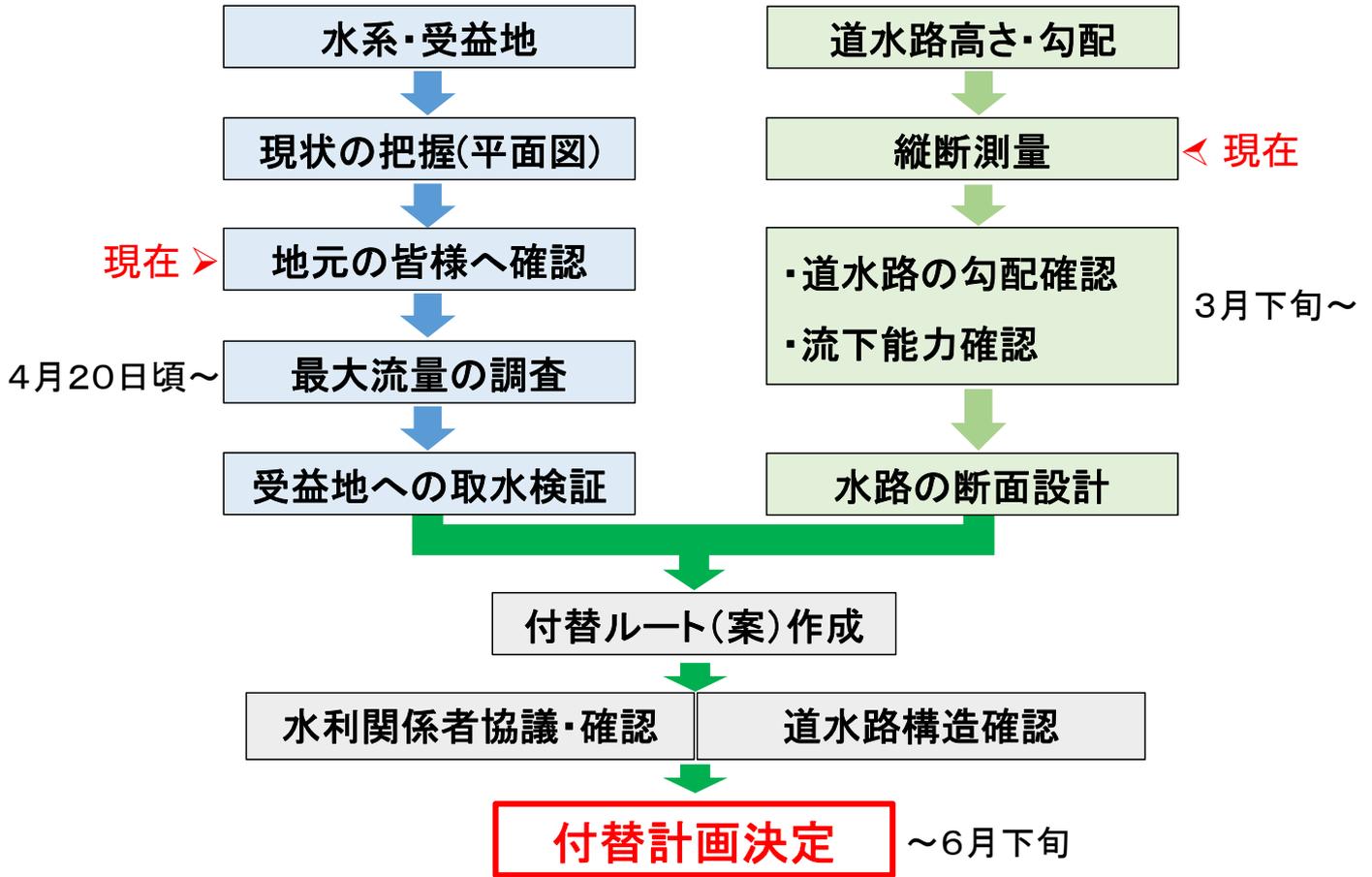


- 保守基地線の緩衝帯については、設定していません。
- 保守基地線については設計を進めています。
- 保守点検やセキュリティも検討し、用地取得範囲を決定していきます。

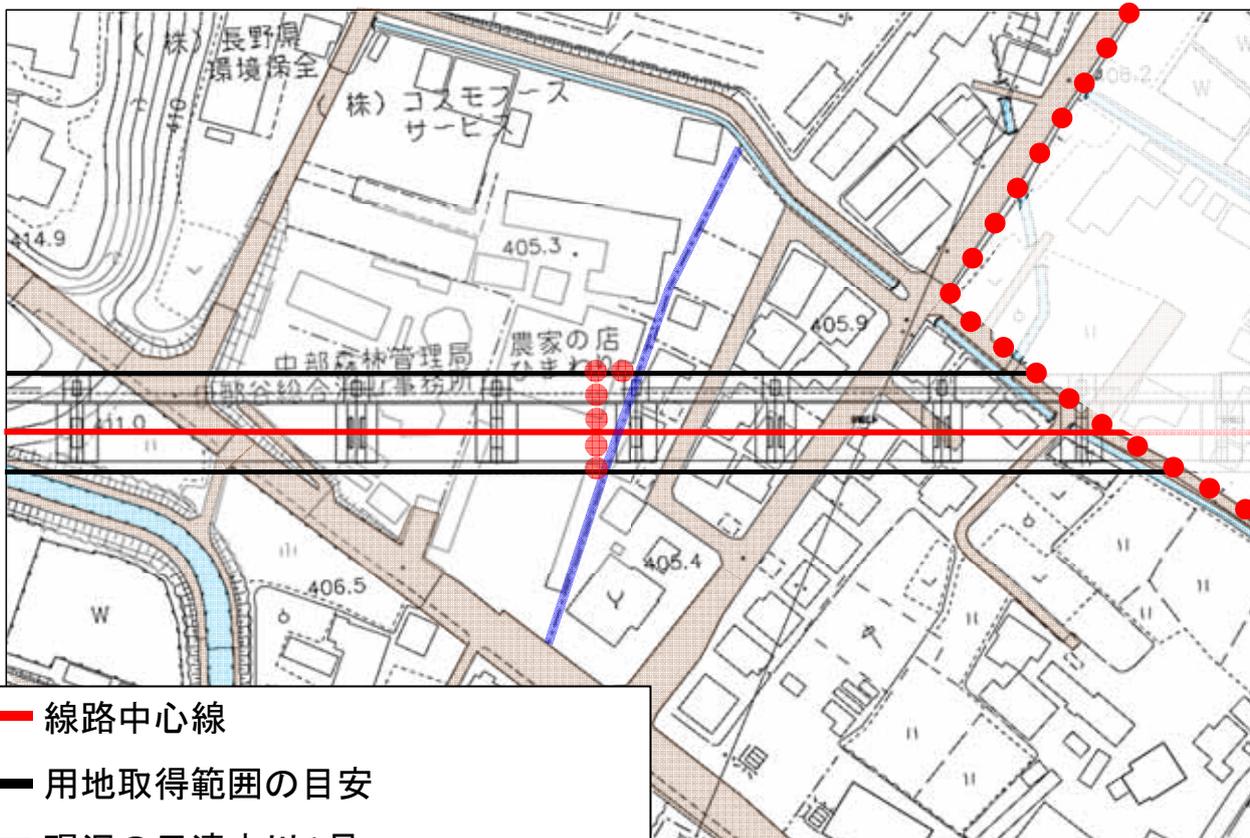
- 幅杭打設後に既存の合併浄化槽について調査を進め、その結果に応じて、必要な補償について検討させていただきます。
- 調査の中では既存の合併浄化槽が使用できるのか、代替の合併浄化槽を設置する必要があるのか、についても検討させていただきます。



この図に示す構造物の大きさ等は現時点での計画の概要であり、最終形とは異なる可能性があります。

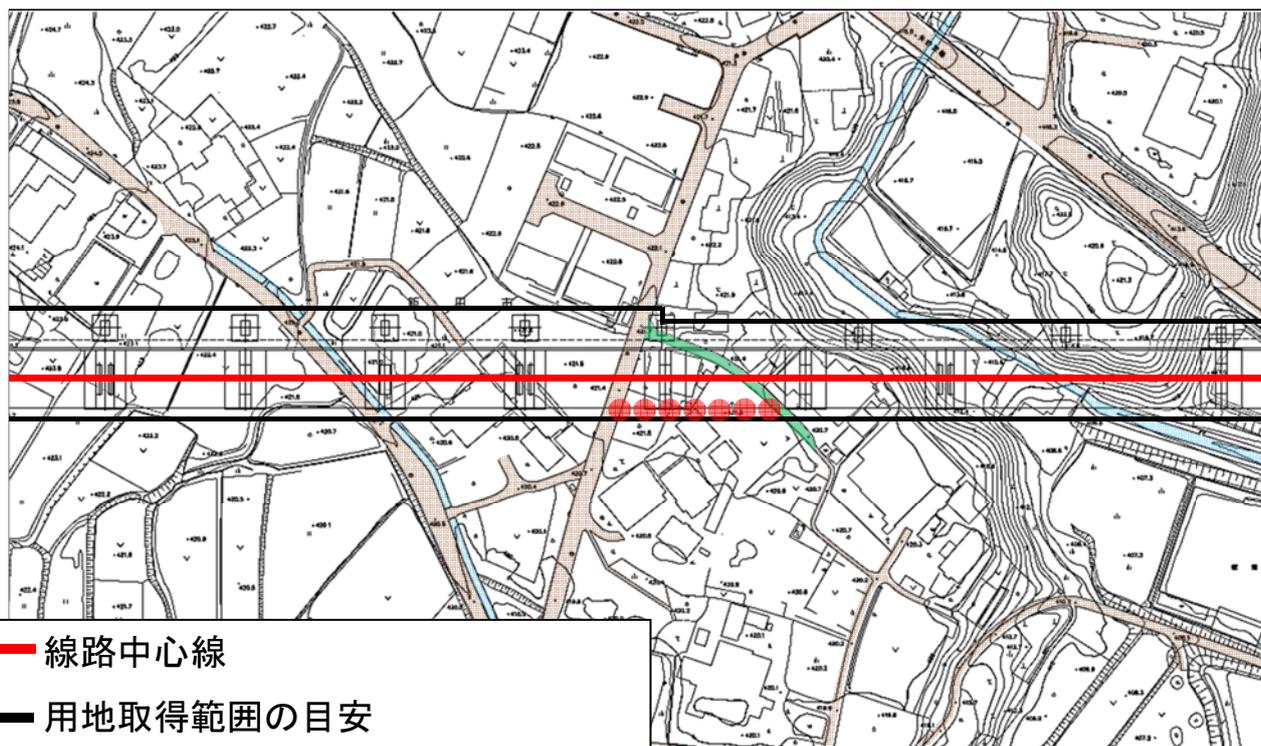


この図に示す構造物の大きさ等は現時点での計画の概要であり、最終形とは異なる可能性があります。



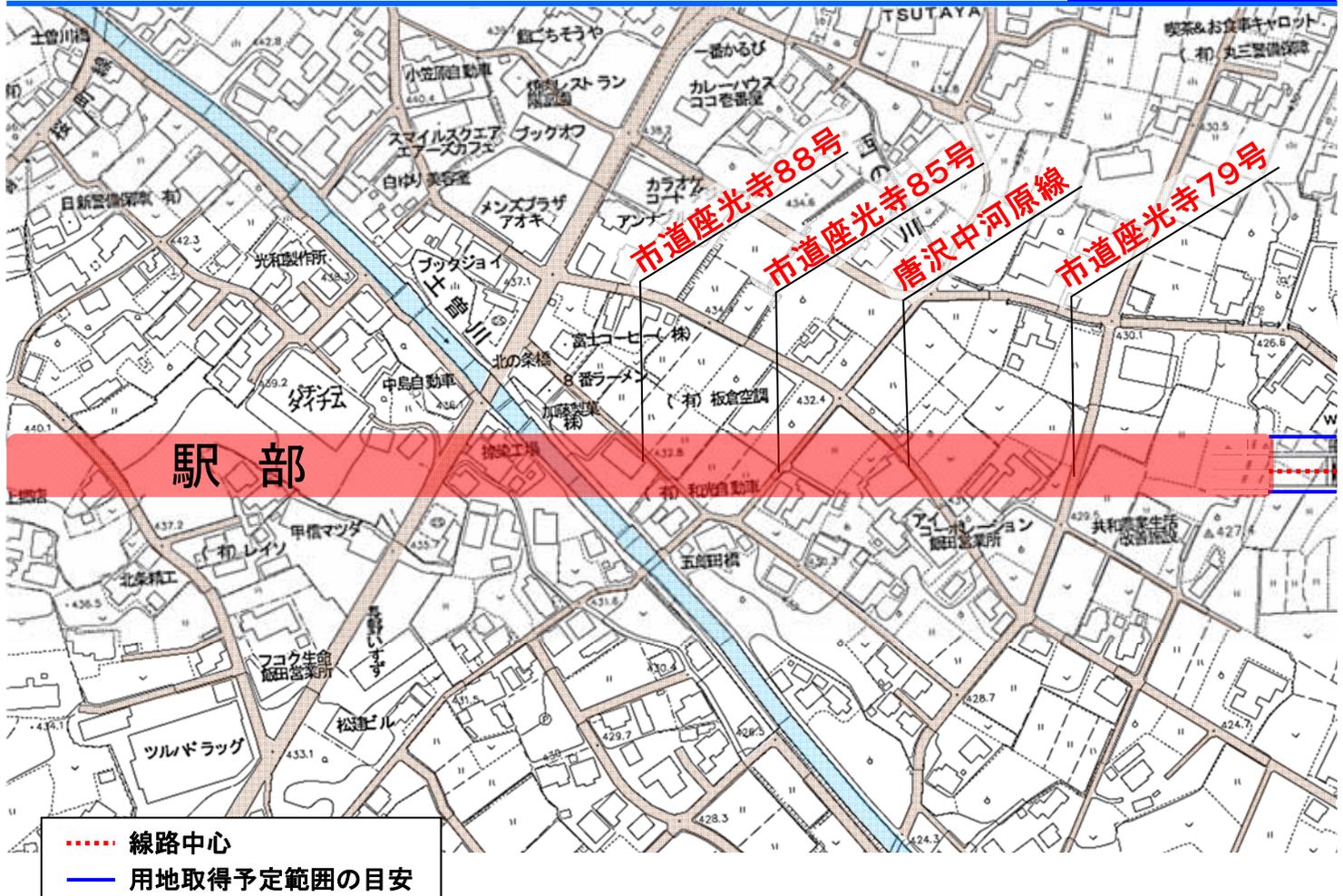
- 線路中心線
- 用地取得範囲の目安
- 現況の元清水川1号
- 概ねの元清水川1号付替え計画

この図に示す構造物の大きさ等は現時点での計画の概要であり、最終形とは異なる可能性があります。



- 線路中心線
- 用地取得範囲の目安
- 現況の市道座光寺65号
- 概ねの市道座光寺65号付替え計画

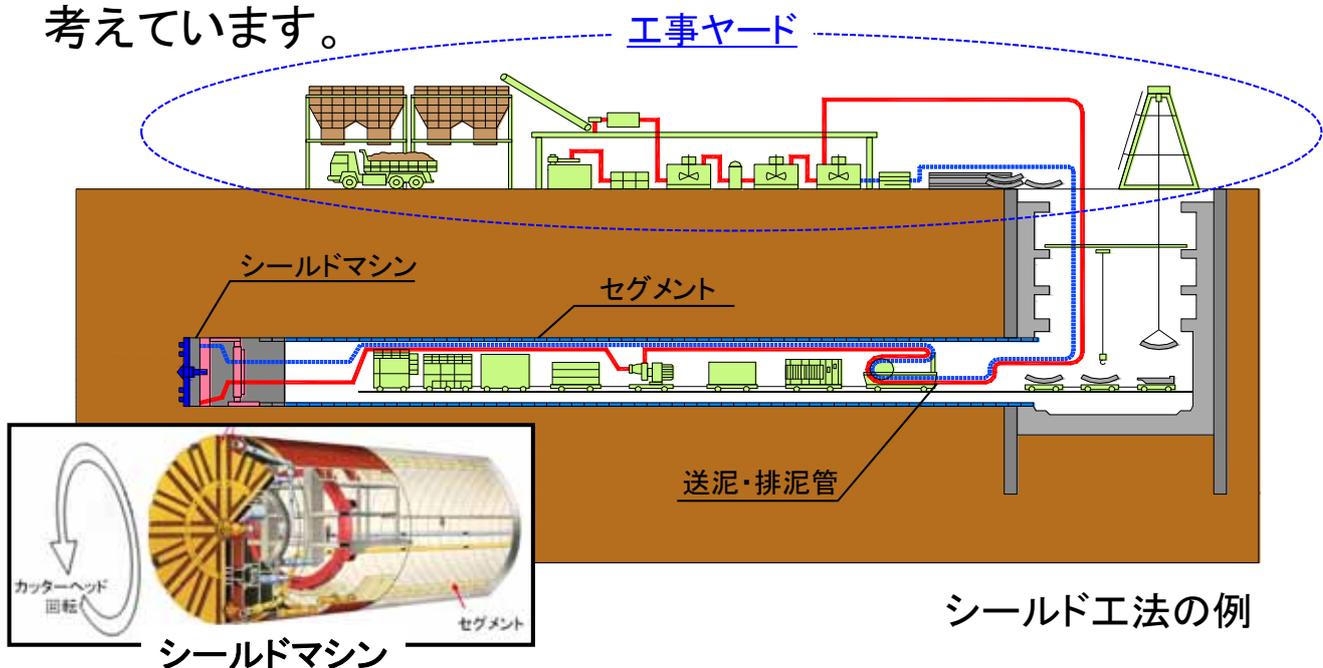
この図に示す構造物の大きさ等は現時点での計画の概要であり、最終形とは異なる可能性があります。



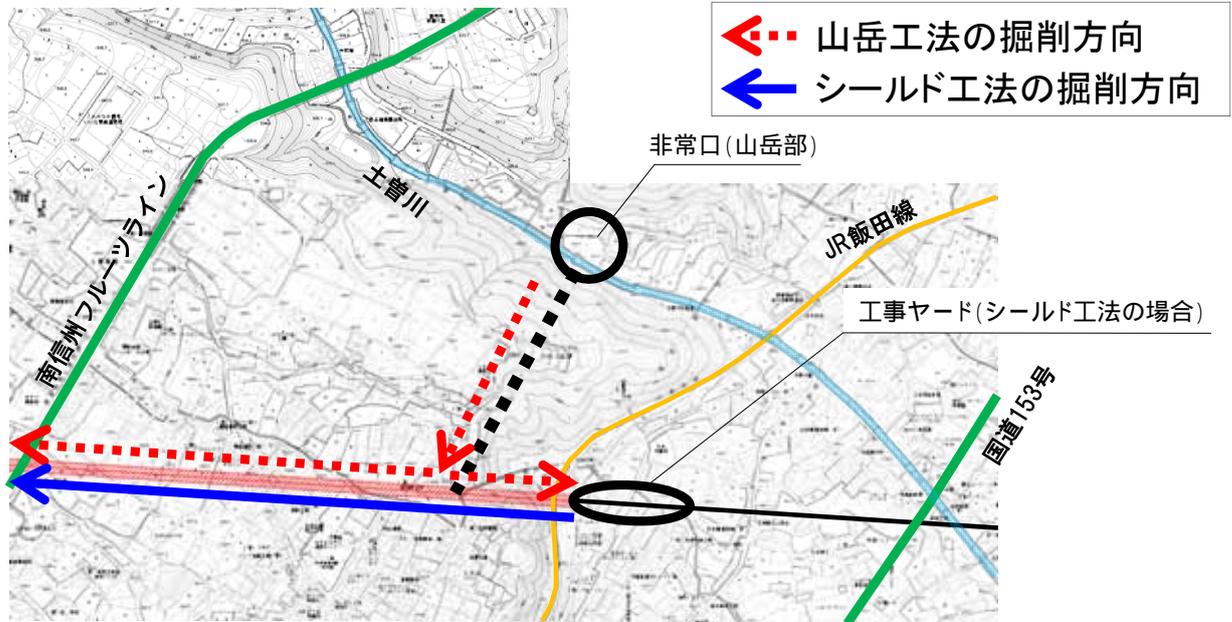
- 駅西側トンネルの一部区間(長野県駅～黒田非常口付近)では、段丘堆積層が想定されることから、多様な地質に対応できる NATM を想定し、評価書においても、トンネルを通過する未固結層と浅層の地下水が一体的な帯水状況であると考えられるため、補助工法等の対策を行うものの、浅層の地下水の水位へ影響を及ぼす可能性があるかと予測しています。
- しかしながら、評価書以降も継続的に地質調査を行っており、黒田非常口付近など2か所で実施した結果においても、掘削深度付近で未固結層が確認されました。
- そのため、現在実施している水利用の調査でも、多くの方が地下水を利用されていることも考慮し、今後、地下水への影響が小さいシールド工法の適用可能性について検討してまいります。

- 駅西側トンネルの一部区間(長野県駅～黒田非常口付近)では、段丘堆積層が想定されることから、多様な地質に対応できる NATM を想定し、評価書においても、トンネルを通過する未固結層と浅層の地下水が一体的な帯水状況であると考えられるため、補助工法等の対策を行うものの、浅層の地下水の水位へ影響を及ぼす可能性があると予測しています。
- しかしながら、評価書以降も継続的に地質調査を行っており、黒田非常口付近など2か所で実施した結果においても、掘削深度付近で未固結層が確認されました。
- そのため、現在実施している水利用の調査でも、多くの方が地下水を利用されていることも考慮し、今後、地下水への影響が小さいシールド工法の適用可能性について検討してまいります。

- シールド工法はシールドマシンにより土や水がトンネル内に入るのを防ぎながら掘削するため、地下水への影響が少ない工法です。
- 但し、駅西側トンネルの地質は、シールド工法が苦手とする巨大な石や高い水圧が課題になります。今後、さらに地質調査を進め、また専門家の意見も聞きながら、適用可能性について検討したいと考えています。



- シールド工法で掘削する場合、工法の特長上、駅西側の坑口から掘削する必要があり、発生土の運搬経路が課題となります。発生土の運搬経路につきまして、土曾川沿いに運搬する案も検討してまいります。
- シールド工法を選定する場合、これらの課題の解決が不可欠ですので、施工計画と対策案について検討しています。



- 今後、これらの課題を検討して、環境も考慮した上で最適な工法を選定してまいります。
- 駅西側のトンネルは、鉄道・運輸機構に施工委託していることから、こうした課題については、鉄道・運輸機構と一緒に検討しています。
- 現在、鉄道・運輸機構が「発生土の運搬方法の検討」や「地質調査」等の業務を契約して検討を進めています。

現時点では、概ね以下のとおりを予定しています。

座光寺地区	H27年度		H28年度				H29年度				H30年度以降
	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	
測量・地質調査等	■										
設計協議	■			■	■	■	■				
用地取得等*				■							
工事説明会									■	■	■
工事(ヤード造成等)										■	■

本日のご報告



★次回のご報告(予定)

工事施工ヤードとして一部用地を借地させていただく場合があります。

東海旅客鉄道株式会社

中央新幹線長野工事事務所 (TEL 0265-38-6500)

環境保全事務所(長野) (TEL 0265-52-6511)

住所 長野県飯田市元町5451

(受付日時／土・日・祝日・年末年始を除く平日、9時～17時)

